

ゲンキと
キレイを
科学する



薬学部 薬科学科

4年制

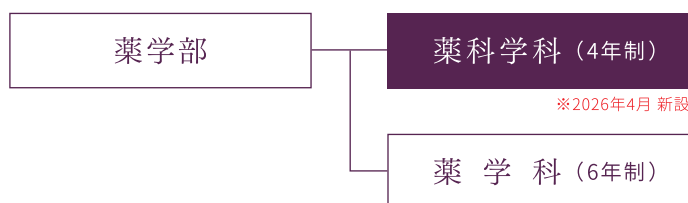
定員30名

— 白子キャンパス —

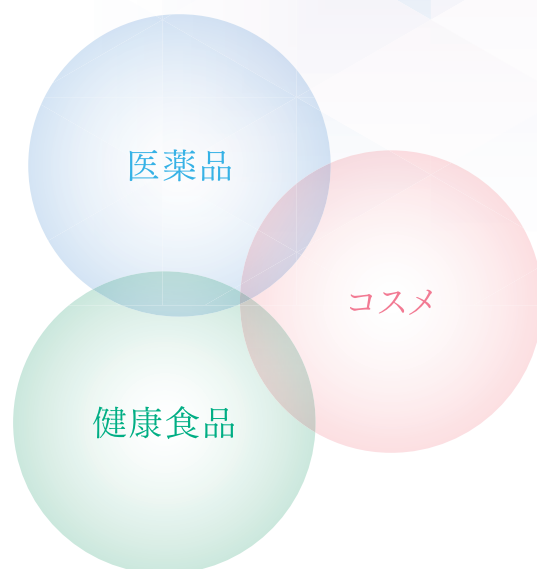
2026年 4月 新設

※カリキュラム等は変更となる場合があります。

私立大学としては東海地方初の
薬学部 薬科学科(4年制)を開設します。



本学の薬科学科は、薬学を基礎として健康と美容を科学し、
医薬品、化粧品、健康食品の研究開発や品質管理、企画営業などに
携わる人材を養成します。



ゲンキとキレイを科学する

医薬品 × コスメ × 健康食品

2026年4月 開設予定

薬学部 薬科学科

4年制

定員30名



薬科学科とは

薬科学科では、化学や生物学、物理学といった基礎科学から生体における薬物の働きや安全性など、幅広い分野を学ぶことができます。この知識を活かして、医薬品や化粧品、食品などの産業において、研究開発や生産管理などの分野での活躍が期待できます。

実験やデータ分析を重ねる中で、新しい価値を生み出す力も身についていきます。薬学の専門知識を持つ研究者は、企業から高く評価され、今後ますます必要とされています。

研究・開発をしたい
企業に就職したい



薬科学科

4年

修業年限

製薬・化粧品・食品関連企業 など

就職

薬学の知識を基盤に
産業や研究・開発分野で活躍

活躍の場

※薬科学科(4年制)では、薬剤師国家試験受験資格を取得できません。

薬科学科(4年制)と薬学科(6年制)の違い

薬科学科(4年制)は、薬学の知識を基盤に、産業や研究での活躍をめざします。医薬品にとどまらず、化粧品や食品業界など多彩な分野への進路が広がり、より専門性の高いキャリアを追求したい方に適しています。また、大学院に進学し、研究を深めることも可能です。

薬学科(6年制)は、薬剤師資格の取得をめざします。薬を正しく使う知識を修得し、薬局や病院での実務に特化し、患者さまと直接関わります。

薬剤師になりたい
医療現場で活躍したい



薬学科

6年

薬学科は、
6年間の学びで
薬剤師国家試験
受験資格が得られます。

薬剤師として
医療現場で活躍

学科開設の経緯

三重県薬事工業会との連携

2024年、本学は三重県薬事工業会※と包括連携協定を締結しました。三重県には大手製薬会社の工場や地元製薬企業が多数あります。医薬品・化粧品・健康食品産業は今後ますます発展する分野ですが、人材不足が課題となっています。こうした地域の人材需要ニーズに応えるため、これまで培った薬学研究のノウハウを活かし、薬科学科(4年制)の設置をめざすことになりました。今後は、同工業会と連携し、学びと就職がにつながる実践的な教育を展開していきます。

※三重県薬事工業会は県内の医薬品製造業、化粧品・医薬部外品製造業及び医療機器製造業43社で構成されている三重県で唯一の薬事関連民間団体です。
※三重県薬事工業会：http://www.mieyakuji.com/

薬科学科長

いま、
薬学系の人材が求められています

化学や生物学、薬理学など幅広い知識をもつ薬学系の人材が、広く業界で求められています。「人材育成に協力を」という地元企業からの声に応えるため、薬学部には4年制の薬科学科を新設します。薬科学科は、未来を切り拓く力をあなたに提供します。

4年間の学び

企業への就職に役立つカリキュラムを展開

1年次
教養／専門基礎科目

早期体験学習

+

専門基礎総論
基礎薬科学演習
など

2年次
専門科目

企業体験学習

+

食品機能学
化粧品学
皮膚科学 など

3年次
専門科目

企業インターンシップ

+

化粧品学実習
生命科学論文購読演習
など

4年次
卒業研究

卒業研究

就職

大学院進学

カリキュラムPickup

薬理学総論

薬が生体の生理的反応にどのように作用し、病気を改善するかを学びます。化合物としての薬の基礎知識を病態や薬物治療といった臨床薬学に結びつけます。

食品機能学

食品が体に与えるさまざまな効果を科学的に研究します。栄養素による健康維持だけでなく、病気予防や体調改善に役立つ成分の働きについて学び、食生活の向上をめざします。

皮膚科学

肌の構造や働き、肌トラブルや病気について学びます。ニキビやアレルギーなどの原因や治療法を学び、健康な肌を保つための知識を深めます。

化粧品学実習

化粧品を深く理解するため、化粧品の調製、評価に関する実習を行います。化粧品開発企業の研究者とともに化粧品開発のノウハウを学びます。

企業体験学習

研究開発、品質管理、マーケティングなどの業務に触れ、業界が求める人物像や必要なスキルについて知ることができます。将来のキャリアをより具体的に考える機会となります。

薬学の基礎科目は薬学科(6年制)と同じ授業を受講します。

薬科学科(4年制)
独自カリキュラム

薬科学科(4年制)
独自カリキュラム

薬科学科(4年制)
独自カリキュラム

企業との連携による
独自プログラム

想定される卒業後の進路

医薬品・化粧品・食品開発関連企業への就職

商品開発や企画、製造、品質管理などの業務に携わることができます。特に医薬品関連企業では、新薬開発を支援するCRC(治験コーディネーター)やCRO(開発業務受託機関)の一員として活躍する道もあります。これらの分野では薬学の専門知識が強く求められており、薬科学科の学びを活かして幅広く活躍できます。

登録販売者・MR

薬局などで医薬品を販売する登録販売者や、医師・薬剤師に情報提供を行うMR(医薬情報担当者)として活躍できます。

公務員

地方自治体で、化学や環境衛生に関わる業務に携わることができます。

大学院進学

研究者をめざし、大学院で高度な知識や技術を深める進路もあります。

取得可能な資格



登録販売者



毒物劇物取扱責任者



健康食品管理士



医療薬膳師

※薬科学科(4年制)では、薬剤師国家試験受験資格を取得できません。

鈴鹿医療科学大学 薬科学科で学ぶ3つの魅力

1

大学と企業が連携した
カリキュラム

1年次から3年次にかけて、企業での体験学習やインターンシップをカリキュラムに取り入れ、就職を見据えた実践的なプログラムを展開。業界理解を深め、早い段階から将来のキャリアを具体的に考える機会を提供します。

2

充実した設備と
魅力的な教員・研究

三重県内でもトップクラスの研究設備を備え、先進的な実験や研究に取り組むことができます。さらに、食品や化粧品分野で活躍する教員から専門的な指導を受けられる点も大きな魅力です。

薬科学科教員の
研究内容Pickup

トマトジュースと酢の
新効果発見

✔ トマトジュースに
抗疲労効果を
発見!



✔ 酢の成分に
自然免疫能力を
高める効果を発見!



3

徹底したサポート体制

学生3~4名に対して教員1名が担任として付き、学修や学生生活をきめ細かくサポートします。高校で学んだ化学・生物・物理などの復習科目もしっかりフォローします。

Q & A

Q.1

文系出身ですが、勉強についていきますか？

ご安心ください。教員が全力でサポートします。文系出身の方や化学・生物が苦手な方でも、スムーズに大学での学びに移行できるよう、入学前教育プログラムや、1年次には基礎をしっかり復習できるリメディアル科目を多数用意しています。

Q.2

化粧品を学ぶうえで、理学部や工学部と薬科学科では学ぶ内容に違いはありますか？

理学部や工学部では専門性の高い学問を深く学びます。薬科学科では、薬理学や製剤学など、幅広い学問を学ぶため、多くの知識を持つことができます。化粧品開発においても、さまざまな分野の知識をもつ薬学系研究者はとても重宝されています。

Q.3

新しい学科なので就職できるか不安です

本学は三重県薬事工業会と連携協定を結んでおり、製薬企業などとコラボした講義や実習を多数展開しています。こうした取り組みにより、業界とのつながりを深めながら実践的な力を養うことができ、就職にも有利な環境が整っています。

Q.4

薬剤師になれますか？

薬科学科(4年制)では薬剤師国家試験受験資格を取得できません。また、本学の薬学科(6年制)への転学科はできません。

■学部学科名称

薬学部	薬科学科(4年制)
-----	-----------

■修業年限

4年

■入学定員

30名

■取得学位

学士(薬科学)

■設置キャンパス

白子キャンパス

■学費(予定)

初年度納入金 (入学金・授業料)	1,750,000円*	2年次以降 (授業料)	1,650,000円
---------------------	-------------	----------------	------------

*入学金(300,000円)を含んだ費用です。上記以外に初年度は諸会費等が別途必要となります。

■2026年度学生募集概要は「入試ガイド」「本学ホームページ 受験生応援サイト」でご確認ください。



薬学部 薬科学科
特設サイトはこちら



- 保健衛生学部 放射線技術科学科
医療栄養学科
臨床検査学科
リハビリテーション学科(理学療法専攻/作業療法専攻)
医療福祉学科(医療福祉専攻/臨床心理学専攻)
鍼灸サイエンス学科(鍼灸・スポーツトレーナー専攻/鍼灸専攻)
救急救命学科
- 医工工学部 臨床工学科
- 薬学部 薬学科(6年制)
薬科学科(4年制)*
- 看護学部 看護学科

*2026年4月開設予定(設置申請届出中)

〒513-8670 三重県鈴鹿市南玉垣町3500-3(白子キャンパス)

〒510-0293 三重県鈴鹿市岸岡町1001-1(千代崎キャンパス)

〈入学課/直通〉TEL.059-383-9591

FAX.059-373-5805

MAIL.nyushi@suzuka-u.ac.jp

〈代表〉TEL.059-383-8991

FAX.059-383-9666

<https://www.suzuka-u.ac.jp>



2025年6月1日発行